

あなたならどうする、どう考える？～親として、地域の一員として～

【ねらい】身近なエピソードをもとに、参加者がそのような場面に会ったらどう思うか、自分が当事者だったらどうするかについて意見を出し合う。そして、将来自分が大人になったとき、子育て中の親への関わりも含め、地域で自分は何ができるのかを話し合い、親としてあるいは地域社会の一員として、人と関わっていくことの大切さについて考える。

【準備物】参加者：筆記用具

主催者：教材、アンケート用紙、A4紙、付箋紙（2色）、プロッキー、残りの時間表示

時間	アクティビティの展開例	留意点	備考
14:35 (5分)	○ファシリテーターの自己紹介 ○『親プロ』って何？』を説明 ○三つの約束（発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守）	●見学者の紹介を簡単に ○写真を撮る場合は、予め了解を得る。 A4用紙を配布	※学校挨拶 ※スケジュールを貼る。 ※机は4～5人程度の小グループ（学校で）
14:40 (5分)	○アイスブレイク（雰囲気づくり） ○□△を順にファシリテーターが参加者に伝え、参加者はA4の紙に書いていく！ …ワークシート配布	○学校で行う場合など、アイスブレイクは、参加者とファシリテーターの関係づくりやファシリテーターのスタンスを伝えることを意識して行う。 ○同じ言葉からも、受け手により感じることはそれぞれ違う。考えや思いは、人それぞれであることを知る。	※参加者の家庭の状況等により間かけなどの表現に留意する。 ※参加者の様子を見る。
14:45 (1分)	○タイトル、ねらいを読む。	○ねらいは、できれば高校生に読んでもらう。難しければファシリテーターで。	
14:46 (5分)	<エピソードを読みましよう> ○エピソードを音読する。(1分) 高校生または見学者から <考えましよう> ○①について話し合う。 (記入1分、話し合う:3分)	★エピソード面のみ見るよう、折りたたむ ○フードコートのイラストの後ろ姿の学生らが「参加者＝あなた」であることをイメージできるように少し解説。 ○時間があれば理由も考え主体的に捉えることができるようにする。	
14:51 (15分)	○②③について記入し、話し合う。 (②③記入4分、話し合う8分) ○話し合ったことを全体に紹介する。(3分)	○「ぶつかった子供の親」「まわりの親」「子供」「おじいさん」など、周囲の状況から個々の思いを感じ取る。 ○自分の考えを出し合えるよう促す。 ○それぞれの考えの違いを受け止める。	※グループで話合ったことを発表してもらい、全体交流。
15:06 (2分)	<グラフを見てみよう> ○ファシリテーターがグラフや吹き出しのセリフを説明する。	○グラフをもとに、自分が何を感じるかを意識する。(親が地域に何を望んでいるかいないかはここでは出ていないが、子育てに対する親の不安や親・地域の間隔を自分なりに考える)	※ワークシートの吹き出し部分を読んで伝えると有効。
15:08 (10分)	<考えましよう出し合いましよう> ○④について記入し、話し合う。 (記入2分、話し合う:8分)	○高校生ももう大人の仲間入り、親や地域の人立場を考え、子育て中の親や地域の人にどう関わっていくのかを考える。 ○他の人の意見を聞いて、自分はどう思うかを考える。	○子育ては、親だけでなく、地域全体で行っていくと人との関係もよりよくなることや、自らもその一員になっていくということに気付いてもらう。
15:18 (7分)	<学習を振り返りましよう> ○ワークシートに記入する。(2分) ○アンケートに記入する。(3分) ○☆ファシリテーターの話。(2分)	○自分たちが考えたこと、他の人の意見を振り返り、これからの生活に生かす。 また、「親プロ」も地域住民としての親への支援であることも伝える。	※学校側挨拶 ○ワークシート回収
15:25	終了・片付け		